## 競技注意事項

- (1) 本大会は2018年度日本陸上競技連盟規則(同駅伝競走基準)並びに本大会申し合わせ事項による。
- (2) スタート時刻及び招集時刻は次のとおり。招集は1区走者のみ駅伝スタート付近、他区間走者は本競技場第4ゲート外で行う(プログラム巻末A3見開きの「コース案内図」参照)。

女子スタート 10:00 男子スタート 12:00  $1 \boxtimes 9:25 \sim 9:40$  $1 \boxtimes 11:25 \sim 11:40$  $9:35 \sim 9:50$ 2区  $2\boxtimes$  $11:25 \sim 11:40$  $3\boxtimes 9:40 \sim 9:55$  $3\boxtimes 11:35 \sim 11:50$  $4 \boxtimes 9:45 \sim 10:00$  $4 \boxtimes 11:45 \sim 12:00$ 5区  $11:55 \sim 12:10$  $5 \boxtimes 9:50 \sim 10:05$ 6区  $12:05 \sim 12:20$ 

(3) ナンバーカードの色は区間ごとに下記のとおりとし、タスキと共に主催者が用意する。

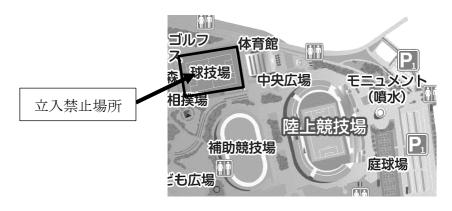
(ナンバーカードは受付時に受け取る。)

	1区	2区	3区	4区	5区	6区
男子	白	桃	緑	橙	水色	黄
女子	白	桃	緑	橙	水色	

- (4) 第1走者のスタートは次のとおりとする。
  - ・スタート時の並び方については、このページ下欄参照。
  - 招集の際に、各チームにタスキが渡される。
  - ・「5分前」にスタート付近に誘導される。
  - 「3分前」のアナウンスで競技服装となり、役員の指示する順番に従ってスタートラインにつく。 天候により変更する場合もある。
  - 「60秒前」「30秒前」「20秒前」「10秒前」はスターターが指示する。
  - スターターの「On your marks」の合図があるので、直ちに用意の姿勢をとり、静止する。その時、決められた順番の位置(前後左右)を崩さない。
  - ・ ピストルの合図でスタートする(絶対に不正スタートをしない)。
- (5) タスキは肩から斜めにかけて走るものとし、下端をランニングパンツの中に入れ、ヒラヒラしないようにする。肩にかけずに首にぶら下げたり、腰に巻いたり、手に持って走ってはいけない。但し、中継点前後は手に持って走ってもよいが、必ず競技場内で脱着する。なお、フィニッシュ後は速やかに競技役員へ返却する。
- (6) タスキを受ける選手は、競技時間帯に入ったら競技服装になり、選手待機エリア内で待機する。
- (7) 中継点のタスキの受け渡しは、中継線から進行方向に20mのゾーン内で行う。自分のチームが 近づいたことを知らされたら、直ちに中継点(待機ライン(黄色))に位置する。
- (8) 二人以上の競技者が接近して中継点に近づいた場合は、先頭競技者のチームが進行方向左側に、次のチームは右側に並んでタスキを受ける。
- (9) 競技者が勝手に走路から離れた場合は、その後の競技は続けられない。また、飲食物の供与、伴走等の助力を受けてはならない。
- (10)招集完了後の介助や手助けは、助力にあたるので、各チーム気をつけること。
- (11)区間の途中において棄権した場合、次走者は最終チームの走者と同時にスタートし、競技を続行できる。この場合は、各区間記録のみ大会の記録として認められる。

## 競技注意事項

- (12)競技者の衣類は各自で責任を持って管理する。
- (13) 競技場エリア内への選手以外の立入はできない。また、コース内の横断は認めないが、やむを得ない場合は、現場競技役員の指示に従う。なお、のぼり旗を持っての応援は禁止とする。
- (14)雨天練習場は、競技者の控え室として使用してはならない(シート等で場所取りをしない)。
- (15)競技中に急病等事故が生じた場合は、速やかに本部役員等に申し出ること。
- (16)競技中に発生した負傷・疾病についての応急処置は主催者が行うが、その後の処置については、 各校学校長の責任において、日本体育・学校健康センター法を適用する。
- (17) 記録処理はタスキに装着したトランスポンダーを用いて行う。 競技外におけるトランスポンダーの破損・紛失については各チームが責任を負うこととする。(1個あたり¥5,000)
- (18)補員記録会のスタート地点は、男女とも1区と同じとする。招集は、スタートライン後方にて、それ ぞれスタート時刻の30分前から10分間行う。なお、補員記録会の計時は各校で行うこととし、本 部としての記録の発表はしない。男女各1位の選手にはメダルを授与する。
- (19)安全な走行が不能になった競技者に対し、最寄りの審判員は競技者に声をかけたり走路の端に 移動させたりして状態を確認する。その後、審判長および医務員(委任された審判員を含む)の 判断で中止を命ぜられた競技者は、直ちに競技を中止しなければならない。
- (20) 緊急地震速報及びJアラート発令時は、競技を中断し避難行動をとる。その後の対応については、 当日のアナウンスの指示に従う。競技の再開ができない場合の対応は、長野陸上競技協会HPに 掲載する。
- (21)保護者等関係者の応援のマナー等について、近年問題が出ることがある。コース横断や、ゴミの持ち帰り等も含め、各校で事前に指導徹底していただきたい。(審判長による警告や除外の対象になる。競技規則125条5参照)
- (22) 今年は、場内体育館横の「芝生グランド(球技場)」が、全面芝張りを行い、その養生中のため一切立入ができません。応援などの移動の際には絶対に立ち入らないようご注意ください。



※スタート順 -

スタートライン

進行方向

70 69 68 67 66 65 64 63 62 61 60 59 58 57 56 55 45 35 25 15